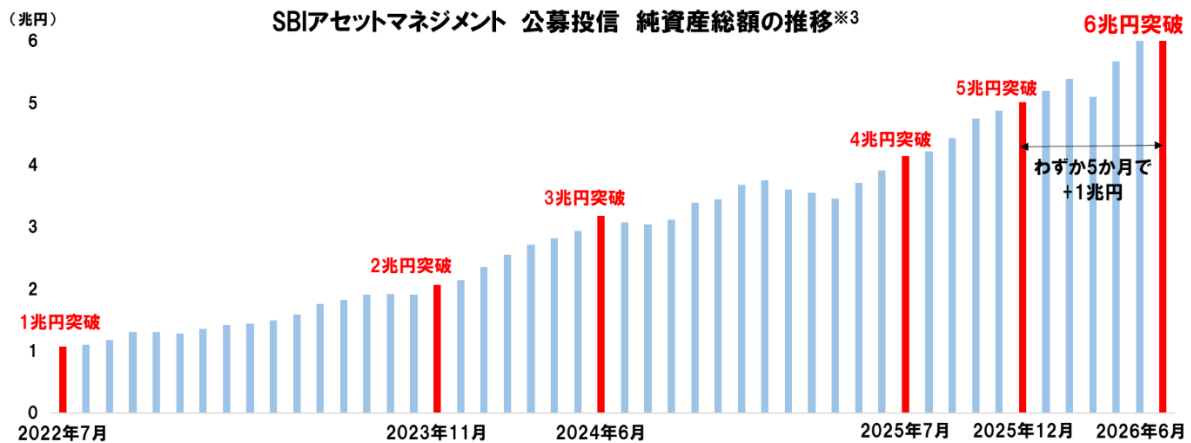


2026年6月1日

商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号
 加入協会 一般社団法人資産運用業協会

SBIアセットマネジメントの運用する公募投信の純資産総額が6兆円突破 5兆円突破から約5か月で1兆円増加、SBI岡三及びレオス含むグループ3社で業界8位

SBIアセットマネジメント株式会社（以下「SBIアセット」）が設定・運用する公募投資信託の純資産残高合計が2026年6月1日に6兆円を突破しました。2025年12月に5兆円を突破して以来、約5か月で1兆円を上乗せし、2022年7月の1兆円超えから約3年10か月で6倍に拡大。成長が一段と加速しております。なお、グループ3社（SBIアセット、SBI岡三アセットマネジメント、レオス・キャピタルワークス）合計の公募投信純資産残高は約9.3兆円^{※1}となり、業界8位^{※2}となっています。



SBIアセットは、低コストのインデックスファンドを中心に商品ラインナップを拡充してまいりました。旗艦ファンドである「SBI・V・S&P500インデックス・ファンド」は純資産総額3兆円を目前^{※4}とし、純資産残高はS&P500インデックスファンドの中で第2位^{※5}となりました。直近では「SBI読売333インデックス・ファンド」や「SBI NASDAQ100インデックス・ファンド」も新たに設定しました。また、業界最低水準のコストで提供する「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド」も、純資産総額4,000億円を突破^{※6}しております。

アクティブファンドでは、年4回決算型の高配当シリーズがご好評をいただいております。「SBI日本高配当株式（分配）ファンド（年4回決算型）」は設定後2年あまりで純資産2,000億円を突破し、国内高配当株式ファンドで第3位^{※7}となっています。

また、地方創生×高配当をテーマとする「SBI地方創生・日本高配当株式ファンド」を5月に、光通信投資顧問の助言を受ける「SBI・光ハイクオリティ・バリュー株ファンド」を7月に設定するなど、独自性の高い商品の拡充も進めております。

近年はオルタナティブ分野にも注力し、「SBI-Manリキッド・トレンド・ファンド」「SBIオルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド（年4回決算型）」など、従来、個人投資家の投資機会が限られていた分野の商品の提供にも取り組んでおります。今後は暗号資産等のデジタル資産運用分野の開発も推進してまいります。

当グループは引き続き「顧客中心主義」のもと、低コスト運用を軸とした規模の拡大に加え、運用の質の向上を進めることで、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※1：SBIグローバルアセットマネジメント・グループのSBIアセット以外の各社残高及びグループ残高合計は2026年4月末時点。
 ※2：資産運用業協会公表情報（2026年4月末時点）を基にSBIアセットが調査。*公募投資信託残高は外国投信を除く金額
 ※3：SBIアセットの残高推移は、合併前のSBIグループ（SBIアセット、SBI地方創生、SBI債券・インベストメント）の残高を含む。プレスリリース公開時点もしくは月末時点の残高を基にSBIアセット作成。
 ※4：2026年6月1日現在。 ※5：2026年5月29日現在。S&P500に連動する国内の追加型公募投資信託（ETF除く）が対象。ウエルスアドバイザー株式会社のデータを基にSBIアセット調べ。
 ※6：2026年2月25日時点。為替ヘッジありおよび為替ヘッジなしの合計額。
 ※7：国内公募追加型株式投信（ETF除く）のうち、2026年4月末時点で国内株式型に属し、ファンド名に「配当」を含むファンドが対象。残高は2026年5月29日時点。ウエルスアドバイザー株式会社のデータを基にSBIアセット調べ。
 ****【本件に関するお問い合わせ先】****
 SBIアセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話：03(6229)0170
 （金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第311号、加入協会：一般社団法人資産運用業協会）

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.85%(税抜 3.5%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.585%(税抜 2.35%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。

また、上記上限を超える場合があります。

● その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。